



▲天井の梁に古民家再生材を利用した、川井交流センター（川井字オノ神30番地1）



▲秋田杉の温もりや優しさを建物全体に表現した、坊山交流センター（小森字坊山52番地）

建設工事が進められていた川井交流センターの竣工祝賀会が11月16日、また、坊山交流センターの竣工式と祝賀会が12月20日、各センターで行われ、地区住民らが完成を喜び合いました。

両センターとも、地域の林業振興を目的とした国庫補助事業「秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業」を導入して建設したもので、秋田杉を内外装にふんだんに使用し、秋田杉の持つ温もりや優しさを建物全体に表現しています。また、玄関の車いす用スロープをはじめ、全館段差の無いバリアフリー設計です。

川井交流センターは、木造平屋建てで延べ床面積308・70㎡。70帖のイベントホールのほか、会議室が3室、調理器具を備えた実習室などがあります。総事業費は5701万円。半分は国の補助、残りを起債（過疎債）と地元からの寄付でまかなわれました。

坊山交流センターは、木造平屋建てで延べ床面積177・77㎡。56帖の集会室のほか、会議室、調理器具を備えた実習室などがあります。総事業費は3672万円。半分は国の補助、残りを起債（辺地債）と地元からの寄付でまかなわれました。

木の温もりあふれる集会施設が完成

川井交流センター・坊山交流センター竣工式

アイデアいっぱい漬け物を紹介

第3回我が家の味自慢大会「漬け物(がっこ)コンクール」



▲色々な漬け物があると感心しながら、審査に臨む小学生審査員

我が家の味自慢大会「第3回漬け物コンクール」（北秋地区生涯学習奨励員協議会主催・櫻田善太郎会長）が12月13日、森吉コミュニティセンターで開かれました。

北秋田市と上小阿仁村から、20人が応募。自由食材部門に20品、大根部門に23品の様々な工夫を凝らした自慢の漬け物が出品されました。

はじめに、櫻田会長が「殺虫剤混入や食品偽造などで食の安全が崩壊している現在、私たちの地域で作られている漬け物が一番身近で安全で安心な食品ではないだろうか。今後、子どもたちに家庭の味を伝えていく

ことが大切なことであり、このコンクールを有意義なものにしたい」とあいさつ。

一般の審査員のほか、米内沢小学校と上小阿仁小学校あわせて16人が参加し、大根や白菜などの定番素材や、山の芋やタケノコなどの変わり種素材など、出品された漬け物を一品ずつ味わいながら審査しました。

その後、県の食育ボランティア小塚保子さんから講評を交え講話をいただきました。

また、集まった主婦ら120人は、漬け物を味見しながら、様々なアイデアを学びました。

- 【審査結果】
- 最優秀賞を紹介します
 - ▼自由食材部門 児童審査
 - 「いぶりがっこのチーズはさみ」 高橋スワさん(阿仁前田)
 - 「ぎゅうりの浅漬け」 石上敬さん(米内沢)
 - ▼自由食材部門 一般審査
 - 「いぶりがっこのチーズはさみ」 高橋スワさん(阿仁前田)
 - ▼大根部門
 - 「とっくりダイコンの一夜漬け」 石上敬さん(米内沢)



▲行政及び林業関係者など約400人が「木質バイオエタノール製造実証プラント」建設を記念する講演会に耳を傾けました

ガソリン代替燃料として注目されているエネルギー・木質バイオエタノールの製造実証プラントを北秋田市に建設する記念講演会が12月20日、北秋田市文化会館で開かれ、市内外から訪れた聴衆が講演で森林資源を活用したニュービジネスについて関心を高めました。

主催は独立行政法人森林総合研究所。同研究所では、林野庁による平成20年度森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業「木質バイオエタノール製造システム構築の実証事業」を行うため、本市坊沢地内のクリーンリサイクルセンター敷地内に実証

プラントを設置し、5年間にわたり、技術実証や施設改良を行うことになっています。

プラントでは、全国に普及可能な基本となる製造システムを構築することを視野に、年間125リットルの規模で生産を行い、5年後には木質バイオマス1トン当たりバイオエタノール250リットルの生産コストを100円/リットルの生産コストを目指したいとしています。

講演のうち、林野庁森林総合研究所の山本幸一研究コーディネーターが、木質バイオエタノール製造技術について説明。「日本で使われているエネルギーの総量は石油換算で6億キロリットルといわれ、その多くを石油や石炭、ガスなどの化石資源に依存している。日本の年間木材生産量は0・8億立米だが、毎年すべて伐採しエネルギー変換すると仮定しても、6億キロリットルのせいぜい2%しか賄えない。しかし、秋田県の森林成長率は全国で北海道に次いで第2位であり、地域の重要な資源となる」などと、秋田県で事業を展開することの意義を強調していました。

北秋田市の森林を代替エネルギーに

「木質バイオエタノール製造実証プラント」建設記念講演会in北秋田

市長日誌

◇12月1日～15日

- 1日(月)▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合臨時議会に出席(森吉支所)
- 2日(火)▽北秋田市心配ごと相談事業「市民公開講演会」に出席(交流センター)
- 3日(水)▽全国山村振興連盟秋田県支部監事会に出席(秋田県市町村会館)▽秋田県市町村職員共済組合理事及び理事長選挙ならびに同組合会に出席(秋田県市町村会館)
- 7日(日)▽自民党・公明党政政策懇談会に出席(中央公民館)
- 9日(火)▽平成20年北秋田市議会12月定例会本会議初日(議事堂)
- 11日(木)▽平成20年北秋田市議会12月定例会本会議一般質問(議事堂)
- 12日(金)▽平成20年北秋田市議会12月定例会本会議一般質問(議事堂)
- 13日(土)▽つや永光後援会年末の集いに出席(中央公民館)
- 14日(日)▽三沢由美子さん「木内音楽賞」受賞祝賀会に出席(ホテル松鶴)
- 15日(日)▽新病院用務で上京(東京都)



▲議会本会議一般質問で(12/11)

必ずチェック！秋田県の最低賃金

秋田県最低賃金 (すべての産業に適用されます)	最低賃金額 時間額 629円	効力発生日 H20.11.2
----------------------------	-------------------	-------------------

☎ 大館労働基準監督署 ☎0186-42-4033

産業別最低賃金の件名	最低賃金額	効力発生日
非金属製錬・精製業(非鉄金属合金製造業を含む)	時間額 740円	H20.12.26
電子部品・デバイス・電子回路、電池、電子応用装置、その他の電気機械器具、映像・音響機械器具、電子計算機・同附属装置、製造業(光ディスク・磁気ディスク・磁気テープ、電気音響機械器具製造業を除く)	時間額 698円	H20.12.26
自動車・同附属品製造業	時間額 729円	H20.12.27
自動車(新車)、自動車部分品・附属品小売業	時間額 714円	H20.12.26